



独立行政法人 国立病院機構 九州グループ

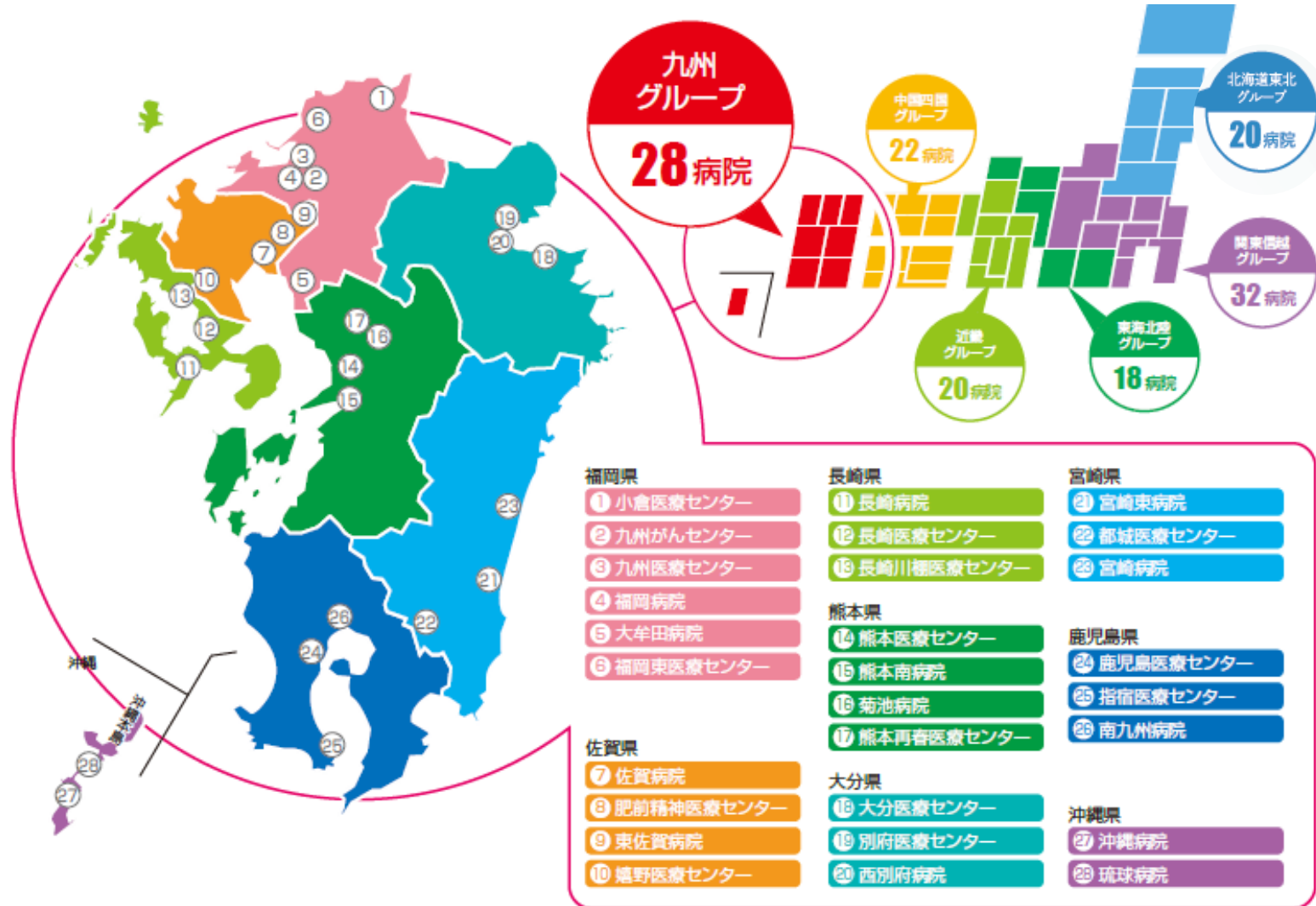


全国最大の
病院グループ



- 国立病院機構（NHO）について
- 採用の流れ、人事異動、処遇等について
- キャリアパスについて

国立病院機構病院と薬剤師定数



各施設の特徴はH Pで確認

全国：140病院

九州：28病院

国立ハンセン病療養所

九州：5施設

【熊本県】 菊池恵楓園

【鹿児島県】 星塚敬愛園

奄美和光園

【沖縄県】 沖縄愛楽園

宮古南静園

九州グループ内の薬剤師

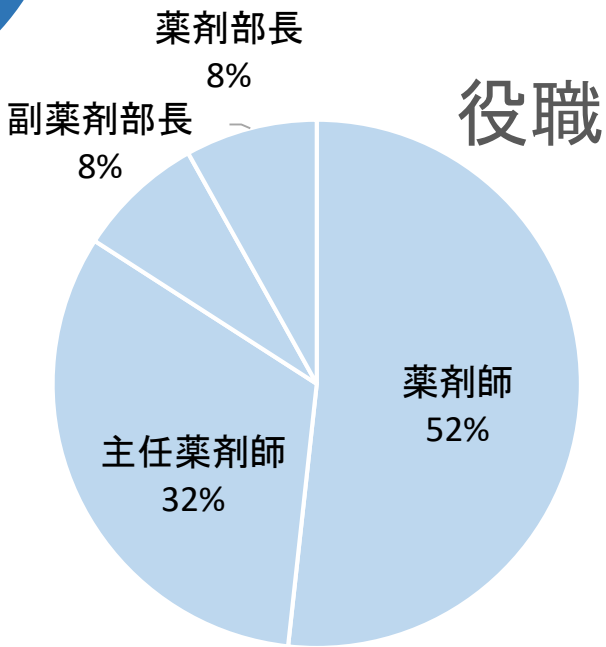
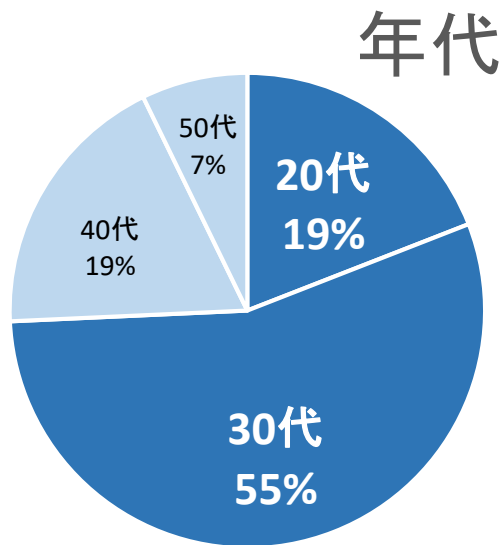
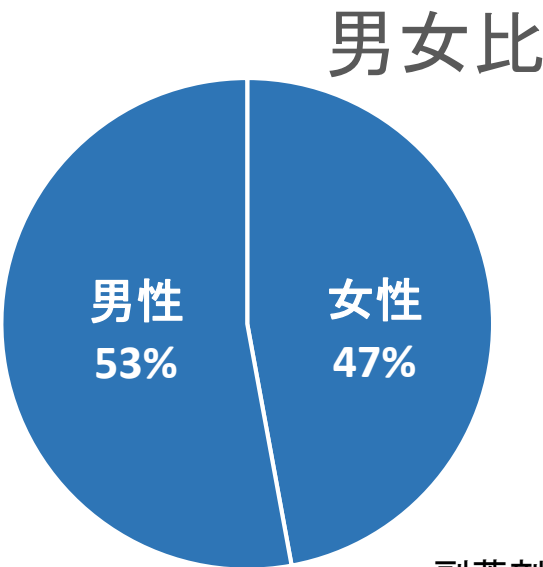
定数：354名

(R3.2.1現在)

薬剤師の構成

平均年齢: **36.1歳**

- ◆ 20代～30代が75%を占める
- ◆ 男性が若干多いものの、男女比はおよそ1対1



R2.4.1時点	20代		30代		40代		50代		総計		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	計
薬剤部(科)長					7		21		28		28
副薬剤部(科)長			1	2	6	15	1	2	8	19	27
主任薬剤師			33	48	18	12		1	51	61	112
薬剤師	33	33	65	42	6				104	75	179
計	33	33	99	92	30	34	1	24	163	183	346

※60歳は50代に含む

NHOの特色

診療・研究・教育(3つの使命)

① 5疾病、5事業

(5疾病)

- がん
- 糖尿病
- 精神
- 脳卒中
- 心血管疾患

(5事業)

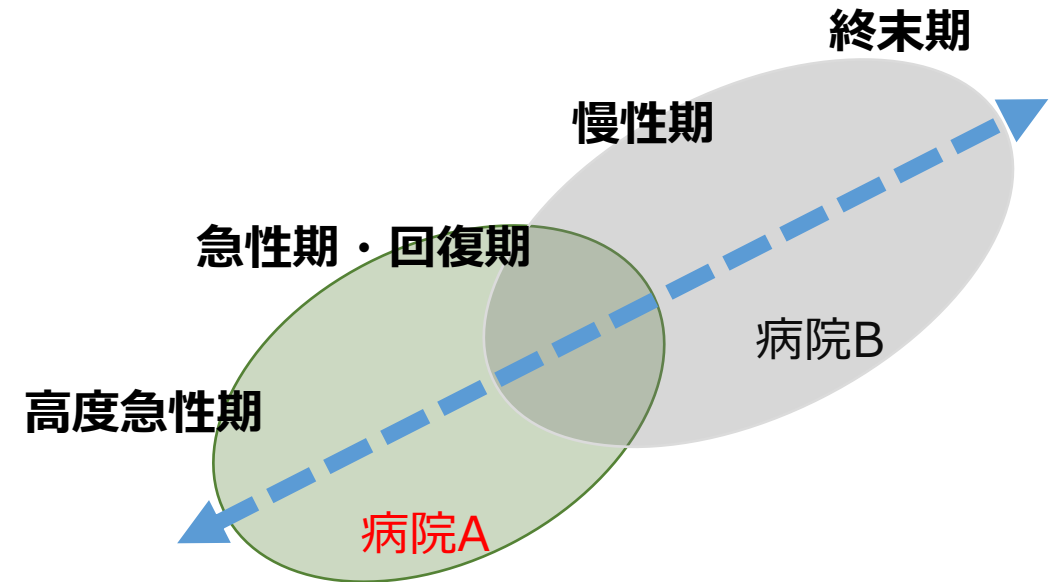
- 救急医療
- 災害医療
- 周産期医療
- 小児医療・小児救急
- へき地医療

② 政策医療 (国をあげて取り組まなければならない医療)

国際貢献、危機管理	国際医療協力 国際感染症 災害医療
高度先駆的医療、難病疾患	エイズ 成育医療 血液・造血器疾患 等
セーフティネット	重症心身障害 結核 筋ジストロフィー 等

急性期？

慢性期？



病院により担当する領域が異なる

人事異動

様々な業務を経験することが可能⁵

- 国立病院機構（NHO）について
- 採用の流れ、人事異動、処遇等について
- キャリアパスについて

【重要】採用までの流れ（令和4年度）

令和3年

3月1日

- 募集開始

※マイナビ及びホームページ掲載、大学への連絡などでご案内します。（エントリー〆切：3月31日）

4月15日

4月16日

- 採用選考試験の実施（2日間のうちいずれか1日）

4月下旬

- 合格通知の発出

10月1日

- 内定通知書を発出

※合格者宛、採用内定を通知します。

※既卒の方は、10月1日以前での内定の相談をさせていただく場合があります。

令和4年

2月下旬

- 採用病院等を通知

※九州全体の薬剤師の配置計画に伴う採用のため、採用病院等については採用予定日の5週間前にご連絡します。

4月1日

- 採用

※九州全体の薬剤師の配置計画に伴う採用のため、必ずしも希望病院へ採用されるとは限りません。

人事異動について

- ◆ 新卒の場合、3-5年程度（あくまで目安）配属施設で勤務
- ◆ その後、九州内の国立病院機構病院及びハンセン病療養所の間で3-5年を目安に人事異動
- ◆ 厚生労働省やPMDA等への人事交流も可能
- ◆ 主任薬剤師、副薬剤部（科）長、薬剤部（科）長へ昇任時は人事異動を伴う
- ◆ 希望する病院等を毎年提出→ワークライフバランスを考慮

在職者（転勤経験あり）のコメント

- 色んな領域（疾患別、急性期～慢性期、セーフティネット）を経験することができました。
- 各施設の様々な医療システム（電子カルテ、医療安全対策など）を経験することができました。
- 3-5年程度の周期ということで、異動先での具体的なゴール、目標が設定しやすかったです。
- 育児の関係で、夜勤のない病院へ異動できました。
- 家族の介護の関係で慢性期の病院でゆっくり業務を行いながら家族との時間を保つことができました。
- 色々な県（地域）で勤務することで第2、第3の故郷が出来ました。

治験（臨床研究）

- 全国140病院の医療ネットワークと治験
- 治験管理室の設置
 - ・ 全国117か所の病院に**治験管理室を設置**
 - ・ 九州では、九州がん、九州医療、熊本医療、長崎医療などで多くの治験を受託
- 臨床研究コーディネーター（CRC）の配置
- 主な業務

<CRC業務>

被験者となる方へのケア、治験に携わる治験責任医師等の支援、チーム内の調整など治験を円滑に進めるための業務

<治験事務局業務>

IRBの運営、必要書類の保管・管理など治験を円滑に進めるための業務

厚生労働省・PMDA等への人事交流

- 厚生労働省やPMDA等への人事交流が可能
- 期間は5年程度
- 主な業務

<厚生労働省>

医政局：治験・臨床研究の推進、厚生労働科学研究の支援 など

医薬・生活衛生局：薬剤師の在り方やOTC販売制度の検討、医薬品等の審査制度やGCPの検討、医薬品情報の収集と添付文書の改訂指示 など

保険局：診療報酬改定や薬価改定 など

<PMDA>

承認申請資料などの内容に関する信頼性調査、副作用情報の収集・整理や安全対策の調査・分析 など

給与等の各種制度において、国家公務員に準拠した制度を規定しています

（基本給）

大学6卒 208,400円

※上記金額に、各種手当を加算

※**毎年1回の昇給**

（各種手当）

- ・業績手当（ボーナス） **年間4. 2月分程度**
- ・住居手当、通勤手当、扶養手当、超過勤務手当、医療専門資格手当（がん専門薬剤師） など

（休暇制度）

- ・有給休暇：**毎年20日付与（繰越上限20日）**
- ・リフレッシュ休暇：3日付与
- ・病気休暇、結婚休暇、産前・産後休暇 など

（出産、子育て制度）

- ・育児休業（子が3歳に達するまで）
- ・育児短時間休業
- ・育児時間 など

（健康保険）**厚生労働省第二共済組合**に加入

（退職手当制度）有・・・勤務年数等に応じて支給

（赴任旅費）**採用、異動に伴う移転費等を一部負担**

～充実した福利厚生～

新卒4月から給与が出ます！

新卒6月に夏のボーナスが出ます！

原則、4週8休（土日祝日は当番制）

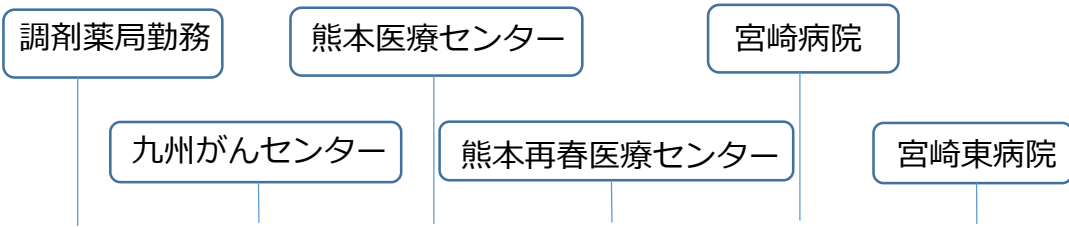
※年末年始（12/29～1/3）も祝日扱い

リフレッシュ休暇や年休、土日祝日を組み合わせ**て9連休を取得することも可能！**

育児休業取得者：20名程度

※結婚、出産後も継続して勤務している女性薬剤師が沢山います。

<出産・子育て制度の実際>



2005 2009 2011 2014 2016 2018 2020

処方変更の理由や血液検査の結果が見えないことにモヤモヤ。病院への転職を決意。国立病院機構を選んだ理由：「国立」ってなんかカッコいい。

呼吸器や乳腺外科を担当。多職種でのカンファレンスや回診、抄読会や学会発表、海外の学会聴講を経験。調剤薬局との違いに戸惑いながらも医師や先輩薬剤師の指導のもと充実した毎日を過ごす。

整形外科や血液内科を担当。救急病院の処方の多さに困惑。効率よくかつ確実にさばくことの重要性を知る。夜勤業務あり。

外科を担当。調剤主任。先輩薬剤師の指導のもと論文投稿。夜間オンコール体制。携帯をサイレントにしたまま爆睡して迷惑をかける。

結婚を機に宮崎へ転勤。
第一子出産。産休・育休取得。

第一子が一歳三か月の時、時短勤務で職場復帰。
第二子出産。産休・育休取得。

第二子が一歳の時、時短勤務で職場復帰。

妊娠中に利用した制度

- ・ 妊産婦の危険有害業務の就業制限
→ 抗がん剤調製、粉碎調剤の免除
- ・ 妊産婦保険指導・健康診査
→ 妊婦検診時に取得
- ・ 妊娠中の休息、補食
→ つわりの症状があるとき
- ・ 産前休暇
→ 出産予定日の6週間前から取得

産後に利用した制度

- ・ 産後休暇
→ 出産日の翌日から8週間取得
- ・ 育児休業
→ 育児休業給付金の給付あり
(原則1歳まで)

復帰後に利用した制度

- ・ 育児短時間休業
→ 1人目の時10:30~16:00の週5日勤務(24時間35分)
2人目の時10:00~16:30の週4日勤務(24時間)
- ・ 特別休暇
→ 子供が発熱したときに取得

- ・ 女性は特に結婚、妊娠、出産、育児などその時々でライフスタイルの変化が大きいと思います。
- ・ その都度、自分に合った働き方(都会の大きな病院から地方のアットホームな病院、フルタイム勤務から時短勤務など)ができるのも国立病院機構の魅力だと思います。
- ・ また個人的ですが夫は全国転勤のある仕事なのですが、国立病院機構であれば全国に病院があり九州以外への異動も考慮してもらえるので助かります。

薬剤師の給与

◆給与モデルケース

- ◇大学6卒(新卒者)
- ◇家賃6万円のマンションに居住
- ◇自動車通勤(通勤距離6km)
- ◇月10時間の超過勤務

基本給	208,400円
住居手当	27,000円
通勤手当	4,200円
超過勤務手当	16,600円
計	256,200円

※別途、賞与として基本給の4.2月分を支給

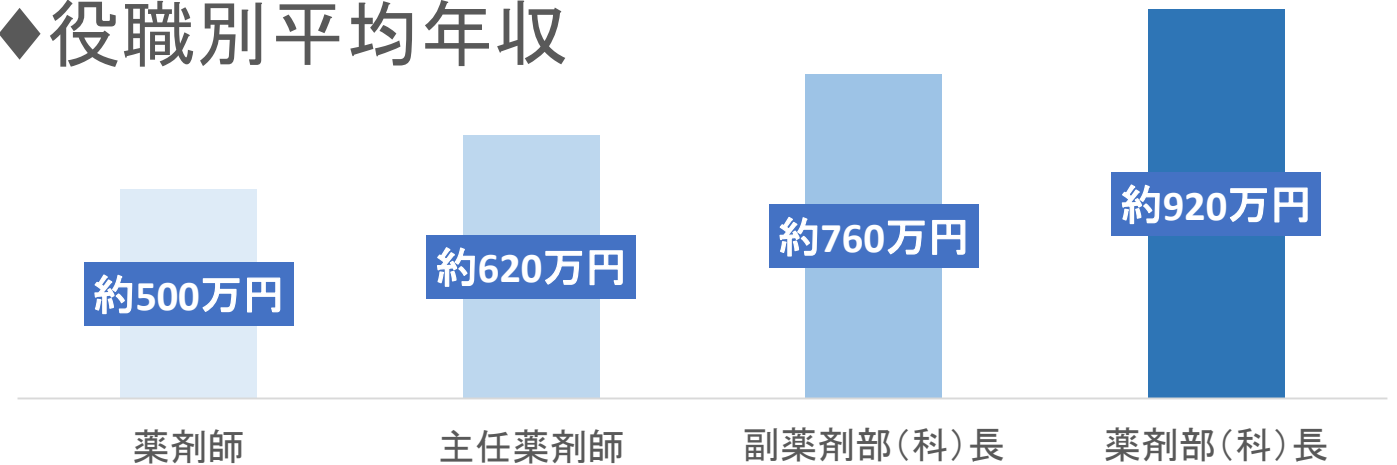
◆退職手当支給例

A薬剤部長 勤続35年で定年退職

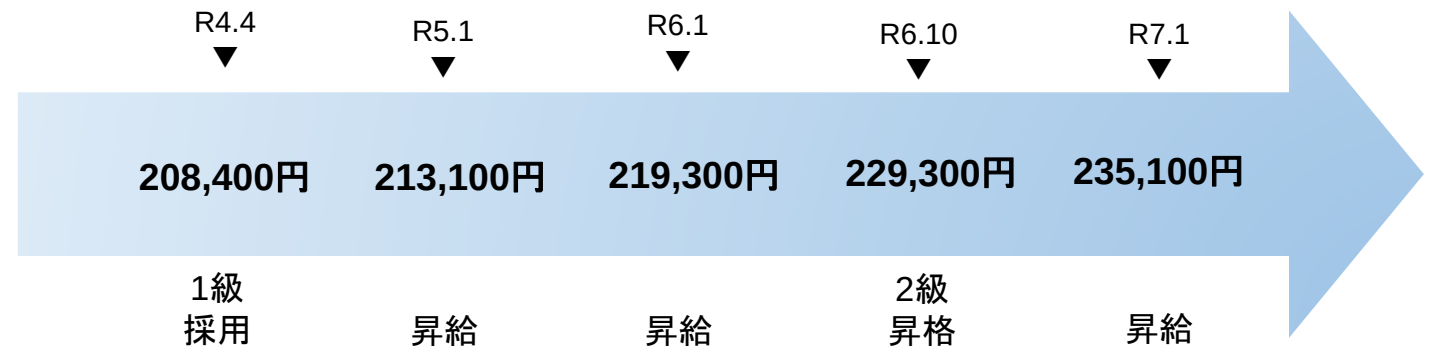
⇒ **約2,500万円**

※退職手当は勤続6年以上で支給
勤続期間の長さや役職の高さにより率変動

◆役職別平均年収



◆昇給例



※毎年1月に昇給 新卒の場合、3年目の10月に2級昇格
※業績評価制度に基づく評価結果により、昇給号俸の変動有

- 国立病院機構（NHO）について
- 採用の流れ、人事異動、処遇等について
- **キャリアパスについて**

キャリアパス（全体像）

◆充実した研修体制

◆充実した学術研究の支援体制

<薬剤師業務の習得>

- 調剤業務、製剤業務、抗がん剤調剤業務、D I 業務など各種薬剤師業務を経験・習得するとともに、将来、主任薬剤師として責任を持って業務に臨めるようスキルアップしていきます。

<学術研究や認定・専門薬剤師取得>

- 学術研究を計画し、学会発表や論文投稿にチャレンジします。
- また、がん、感染、精神、妊婦・授乳婦など専門薬剤師の資格取得を目指します。

新卒 5 年目～

主任
薬剤師へ

新卒 3 年目～

<病棟業務のステップアップ>

- 各診療科の病棟薬剤業務や薬剤管理指導を経験し、ジェネラリストとしての薬剤師を目指します。
- 次のステップとして、専門領域を学び I C T、N S T、緩和医療などスペシャリストを目指しチーム医療に参画します。

新卒 1 年目

九州グループの先輩薬剤師が習得している主な資格（抜粋）

（R2.7.1現在）

認定組織	名 称	習得者数	認定組織	名 称	習得者数
日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師	14	日本医療薬学会	認定指導薬剤師	9
	感染制御専門薬剤師	4		専門薬剤師	27
	感染制御認定薬剤師	8	日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療認定薬剤師	28
	精神科専門薬剤師	1	日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師	5
	精神科薬物療法認定薬剤師	4	日本静脈経腸栄養薬学会	N S T 専門療法士	48
	H I V 感染専門薬剤師	1	日本糖尿病療養指導士認定機構	日本糖尿病療養指導士	18
	H I V 感染症薬物療法認定薬剤師	2	日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師	9
日本医療薬学会	がん指導薬剤師	1	日本臨床救急医学会	救急認定薬剤師	3
	がん専門薬剤師	7	日本臨床薬理学会	認定 C R C	17

専門・認定薬剤師を育成する環境

- 各領域の研修施設があります（赤字の資格は研修施設での研修が必要）
- 国立病院機構は、全国規模の病院ネットワークです。九州だけでなく他の地域での研修も可能！
- 専門・認定の種類によっては、取得にかかる費用の助成あり

最後に

- 国立病院機構は、やりがいを持って働くことができ、国内最大のネットワーク、充実した教育システムと研究支援体制などにより、薬剤師として大きく成長できます！
- 国立病院機構を薬剤師のスタート地点として選んでみませんか！！

<参考資料>

■ 先輩薬剤師のキャリアアップ

- ✓ 指導薬剤師取得者 編
- ✓ 治験薬剤師 編
- ✓ 人事交流経験者(厚生労働省) 編

■ キャリアパス

- ✓ 病院薬剤師としてのスキルアップ
- ✓ 専門薬剤師取得に向けて

■ 採用実績

<指導薬剤師取得者 編>

九州医療センター（1～7年目）

1年目～ 薬剤師業務全般

3年目～

血液内科の抗がん剤治療に興味
抗がん剤調製業務に特化
血液内科医師との連携

- ①白血病、移植前処置のレジメン登録
 - ②医師側からの臨床上の疑問→学会、論文投稿
- 電子カルテへの切り替え（レジメンシステムの担当）
同僚薬剤師と連携して学会発表、論文投稿

7年目～

腫瘍内科との連携→英語論文投稿

- ①外来化学療法室への常駐
- ②腎細胞がんの内服抗がん剤の診察前面談の運用立ち上げ

実臨床における抗がん剤の有害事象に関する論文が意外と少ない。
大規模な研究はできなくても、自施設での症例を集めれば論文化できるものもある。

指導薬剤師取得
への第一歩

- ★ 2010年 学位（博士号）取得
- ★ 血液内科医師からの大説教
- ★ 日本医療薬学会認定薬剤師取得

小倉医療センター（8～11年目）

8年目～

調剤主任として赴任
マニュアル整備
病棟薬剤業務実施（呼吸器科、眼科）
医薬品マスタ管理
電子カルテへの切り替え（注射、レジメンシステム担当）
同僚薬剤師と連携して学会発表、論文投稿

- ★ 趣味の開拓：クライミング
- ★ 日本医療薬学会指導薬剤師取得
- 課題/自分との向き合い
- ★ 結婚
- 医療職以外とのコミュニケーション

福岡東医療センター（12～15年目）

12年目～

副薬剤部長として赴任
電子カルテ更新（薬剤部門担当）
業務改善：簡易懸濁の導入、マニュアル整備
（超過勤務縮減、薬剤管理指導件数の増加）
働き方改革

14年目～

増員要求への対応
（2020年度に1名増員、2021年度に4名増員）
診療報酬関連の対応
薬剤部長の退職-新薬剤部長赴任への繋ぎ

管理職になると、（論文に
ならない）問題だらけ！

- 【大切と感じるもの】
- ・薬学的知識
 - ・他の職種との連携
 - ・問題解決にむけた思考力
 - ・データ解析、編集能力
- 指導薬剤師取得の最中に
少なからず経験したこと

- ★ 医療安全管理責任者
- ★ エクセルの勉強
- ★ 趣味の継続
- ★ 子育て
- ★ 在宅での趣味：歴史学

振り返って感じること

実臨床における薬剤使用経験に関するデータをまとめ、臨床に還元することの重要性を知り、指導薬剤師を目指すきっかけとなった。

指導薬剤師取得の最中で経験、取得した薬学的知識、他職種連携、問題解決能力、データ編集力は、管理職には必須なスキルであると感じています。

1施設目（20代）のうちに、多くの先輩（薬剤師、医師、看護師）と出会い、臨床上で困っていることや疑問点に関してディスカッションできたことが、今の自分を形成する原点になっていると感じております。

NHO中途採用まで

<治験薬剤師 編>

○薬学部で講義で、治験に興味を持っていました。

○院生時代、所属していた研究室の先生が文部科学省関連の研究開発事業に採択されたことをきっかけに研究を自分で進めるだけでなく多方面から支援する仕事があることを知りました。科学技術振興機構（JST）という機関に就職し、研究支援職（事務系の仕事）を3年経験しました。

しかし、やはり専門に戻りたい、現場で働きたい！という思いが強くなり

○中小病院に転職し、主に調剤業務を2年経験しました。

調剤業務にも慣れてきて、学生時代に興味を持った治験業務を経験してみたい！という思いから、国立病院機構（NHO）を受験し、中途採用され、治験や臨床研究を専門的に支援する臨床研究コーディネーター（CRC）として働くことになりました。

NHO 2施設目：九州医療センター（9年間）

治験主任として赴任

○忙しくも活気のある環境で、CRC14名と事務4名をまとめる役割を担いました。

○循環器科、脳血管内科、血液内科、外科（消化器、肝臓）などの様々な診療科の治験・臨床試験を経験しました。グローバル治験や救急治験、診療科横断的な治験など難しい治験は、CRCがハブとなり患者さんを中心に院内外の関係者と協力することで初めて実施が可能になります。多くの人が関わるチームとして一つの目的のもとに仕事をするは大変さも伴いますが、大きな達成感と遣り甲斐をもたらしてくれます。関わった新薬や新しい治療法が認められ、実用化された時の喜びは、CRCならではの醍醐味です。

○治験や臨床研究の実施について審査する治験・倫理審査委員会の運営は、治験主任の重要な業務の一つです。CRC（実施側）と委員会事務局（審査側）の経験を踏まえ、病院で実施される治験や臨床研究がルールに基づいた上でいかに適正かつ効率的に行えるかを考えて業務を行っています。事務局として関わった倫理審査委員会・臨床研究審査委員会は質の高い倫理審査を行っている証として、国から認定を受けることができました。

- ★ CRC関連の各種学会発表・参加、研修の講師経験
- ★ 日本臨床薬理学会CRC海外研修参加
- ★ JSCTR認定GCPパスポート・がん臨床研究専門職取得

NHO 1施設目:福岡病院（3年間）

CRC薬剤師として赴任

○CRC看護師1名と事務1名の計3名のアットホームな環境で仕事しました。

○成人と小児の呼吸器疾患に特化した病院で、呼吸器科（喘息・COPD・鳥インフルエンザワクチン）、小児科（喘息・四種混合ワクチン）の治験を経験しました。

○NHOは、全国140病院のネットワークを活かし治験・臨床研究を推進しており、その取り組みの一つとして、CRCの育成に努めています。本部主催の治験・臨床研究コーディネーター初任者研修を始め各種研修が充実しており、それらに参加することで知識と実地の両面で基本からCRC業務を学ぶことができました。

- ★ CRC関連の各種研修・学会参加
- ★ 呼吸器関連の国際学会参加
- ★ 日本臨床薬理学会認定CRCの取得

最後に

CRCは薬剤師さんの進む道の一つであると思います。NHOは治験や臨床研究を積極的に推進しているため、薬剤師もしくはCRCとして活躍の機会も多くあります。

NHOの薬剤師として治験や臨床研究と一緒にかかわってみませんか？



日本臨床薬理学会のCRC海外研修

<人事交流経験者(厚生労働省) 編>

別府医療センター（1~3年目）

1年目～ 新人薬剤師として薬剤部業務全般を経験
調剤業務、医薬品発注業務、抗がん剤調製業務、薬剤管理指導業務
医薬品マスタ副担当
学会発表（国立病院総合医学会ベストポスター賞受賞） etc

- ★ 院内多職種参加のフットサル週1回（チーム名「コトナカレ」）
- ★ 地域医療機関とゆるーいフットサル大会（大会名「ホスピサル」「ゆるカップ」）
- ★ 平日は居酒屋、休日は温泉でリフレッシュ

↓ これから続く長い薬剤師人生の中で、比較的体力と自由がある20代のうちに、幅広い視野を養える環境を希望（出向経験のある上司の話も参考に）

厚生労働省出向（4~7年目）

4年目～ 医薬食品局食品安全部基準審査課（当時）
食品中の残留農薬基準値設定業務
（カウンターパート（農林水産省、食品安全委員会）との調整業務）
薬事食品衛生審議会農薬動物用医薬品部会事務局業務
（部会資料作成、会議室確保、開催案内）
官報告示・通知資料作成業務

6年目～ 保険局医療課主査として配置換え
2016年度診療報酬改定対応
（薬剤師関係の診療報酬、調剤報酬の検討、関係団体との調整、改定説明会）
薬価算定業務（新薬、後発医薬品の薬価算定）
国会対応（答弁作成「医薬分業の在り方如何」etc）
議員対応（国会質問確認・レク、主意書作成業務）

- ★ 2000円/月の宿舍から1.5時間かけ通勤、最終電車で帰宅。→4か月で引っ越し。
- ★ 多くのエリート官僚、日薬や日病薬関係者と仲良しに。現日本医師会長にもレク。
- ★ 平日は新橋飲み、休日は東京観光でリフレッシュ

九州がんセンター（8~12年目）

8年目～ 治験主任として赴任
治験審査委員会事務局業務（マニュアル整備、業務効率化）
治験契約業務（受託請求金額増加）
働き方改革（No残業DAYの運用開始）

12年目～ 薬剤部主任として配置換え
内服薬マスタ関連業務
病棟薬剤業務導入関連業務
医薬品情報担当業務

- ★ 日本臨床試験学会GCPパスポート取得
- ★ 日本臨床薬理学会認定CRC取得
- ★ 日本病院薬剤師会医療政策部員
- ★ 結婚、子育て、マイホーム取得
- ★ 「コトナカレ」で出会った医師との再会

振り返って感じること

1年目から幅広い薬剤師業務を経験できる環境であった。

その後の4年間の出向経験により、関係通知の作成等を通じた薬剤師関連の制度に関する知識習得に加え、国会対応・議員対応、関係団体等との調整業務を経験することで、様々な業務を確実に、効率的に進めていく力を身に着けることができた。

これらの行政経験を活かして、法律・通知等に基づいた薬剤師業務、相手に伝わりやすい資料の作成、各種業務調整等を実施することができている。

なにより、複数施設での薬剤師業務や厚生労働省出向を通じて、国立病院機構ならではの経験、人の繋がりを構築できたことが今の私の一番の財産になっていると感じている。

キャリアパス（各論①：病院薬剤師としてのスキルアップ）

①薬剤師研修制度（例：スキルアップ研修）

経験年数や役職別に対象者を絞ったテーマを設定して実施

【最近のテーマ】

- 平成29年度：各種疾患（精神科領域・抗凝固療法・緩和ケア・栄養管理）
- 平成30年度：各種疾患（周術期の麻酔管理・不整脈・慢性腎臓病・認知症・リンパ腫・骨髄腫）
- 令和1年度：各種疾患（周産期と薬、肺炎、臨床研究地域包括ケアでの薬剤師の取り組み等）



（先輩の声）

自分の病院だけでは習得できない情報や知識を得ることができて良かった。

②チーム医療研修（例：災害医療従事者研修）

チーム医療の充実や連携強化を目的として実施

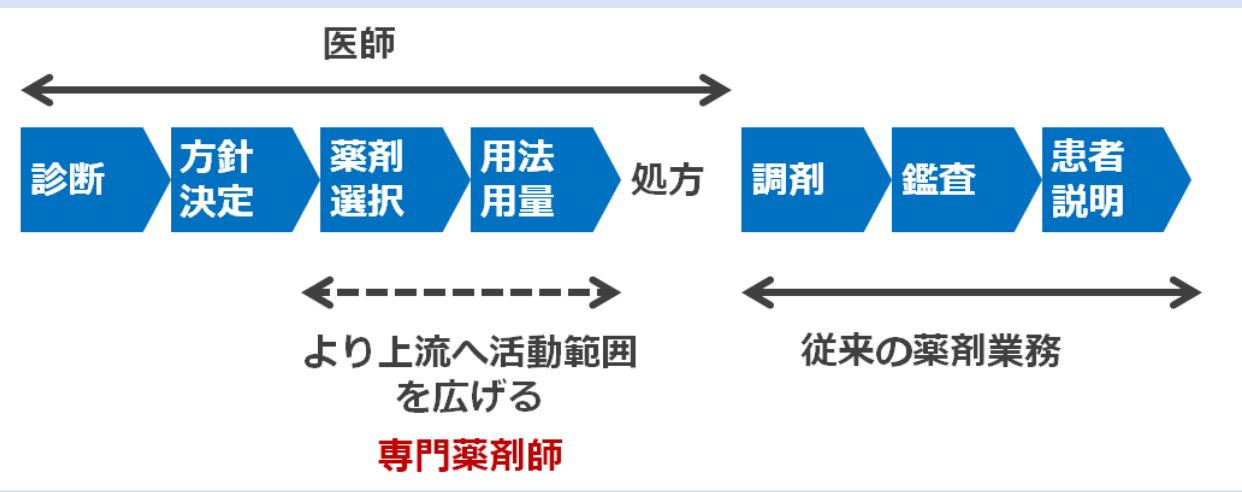


多職種合同研修の一例

- ・ HIV感染症研修
- ・ 災害医療従事者研修
- ・ CRCを対象とした研修
- ・ 医療安全対策研修
- ・ チーム医療推進研修（がん化学療法、NST、輸血）

キャリアパス（各論②：専門薬剤師取得に向けて）

専門薬剤師に求められる活動範囲（イメージ）

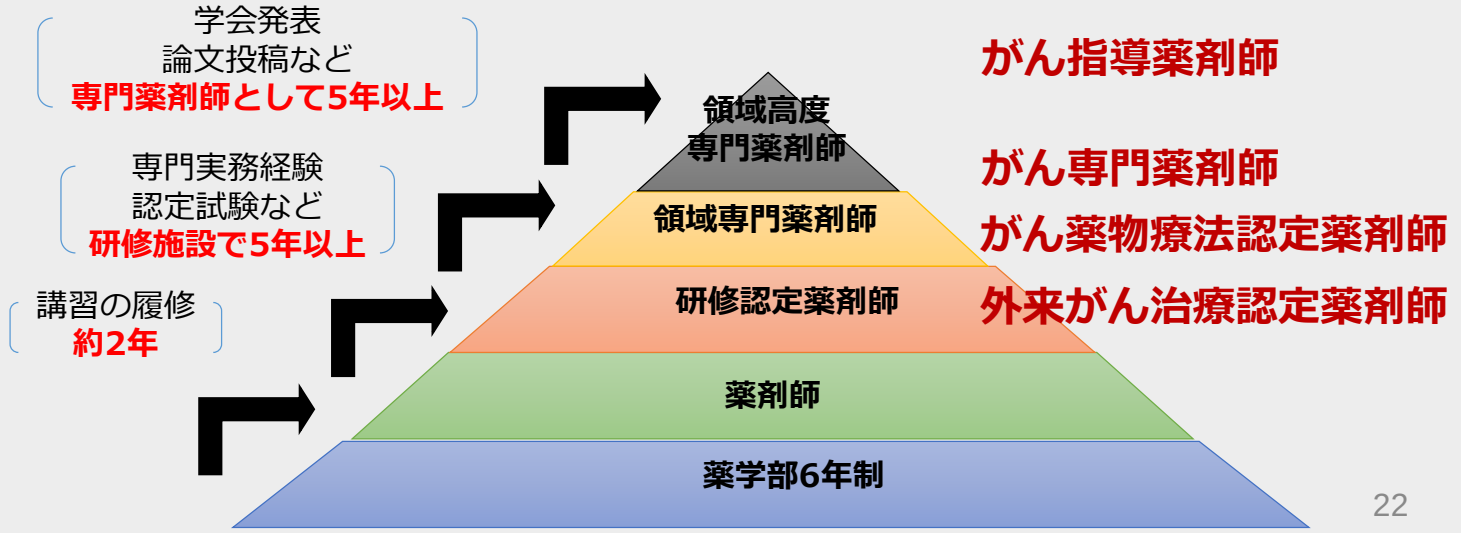


研究
エビデンスの創出
問題解決
情報発信

教育
専門領域の情報発信
スタッフ教育
後進の育成

研修施設での
研修が必要

専門薬剤師取得のためのラダー～がん領域を例に～



採用実績

●過去5年間の採用者数

平成29年度	29名	(受験者数53名)
平成30年度	18名	(受験者数34名)
平成31年度	22名	(受験者数31名)
令和2年度	24名	(受験者数45名)
令和3年度	13名	(受験者数24名)

●過去5年間の採用実績校（50音順）

いわき明星大、大阪薬科大、岡山大、北里大、岐阜薬科大、九州大、九州保健福祉大、京都薬科大、近畿大、熊本大、国際医療福祉大、静岡県立大、就実大、昭和薬科大、摂南大、崇城大、第一薬科大、帝京大、東京薬科大、同志社女子大、徳島文理大、長崎大、長崎国際大、新潟薬科大、日本大、広島大、広島国際大、福岡大、福山大、北陸大、松山大、明治薬科大、武庫川女子大、安田女子大、立命館大

長崎国際大学薬学部卒業生からひとこと



永江 一徳

長崎医療センターは37科と多岐に渡る診療科のある総合病院です。診療科ごとに、より深い知識を学ぶことができます。調剤はもちろん、病棟業務も盛んに行っています。その他にもI C T(感染制御チーム)、N S T(栄養サポートチーム)、P C T(緩和ケアチーム)などのチーム医療活動にも積極的に参加しており、充実した薬剤師生活を送ることが出来ます。薬剤師数も20人以上の大所帯で和気あいあいと仕事をしています。

よかったら、一緒に働いてみませんか？

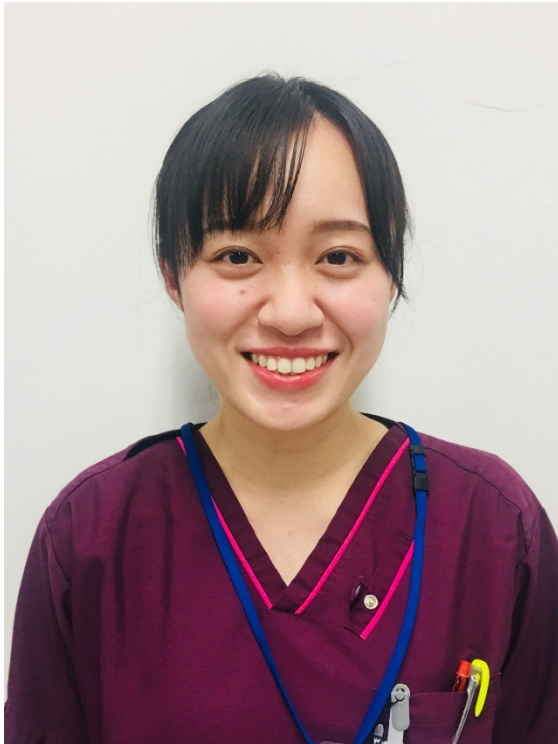


大井 裕貴

就職の際には調剤薬局、病院、ドラッグストア、行政と様々な方面で悩みましたが、先輩や周りの方々の勧めもあり、まずは医療、薬物療法の基本を学ぶために病院薬剤師になりました。また自分が働いている国立病院機構は九州地区国立病院及びハンセン療養所を数年おきに転勤し、各病院、診療所でしか出来ない経験を得ることができます。

現在の勤務先である長崎医療センターは大村市に位置し、県中央部の 2-3 次を担う急性期医療機関です。個人的には救命救急、癌診療、小児医療に長けている印象があります。

初めての勤務先は精神科のみの病院でしたので、長崎医療センターに異動となり、赴任した当初はあまりの業務内容の多忙さに、仕事をこなしていくのに必死でした。現在は少しずつではありますが、多数の診療科、疾患に関して幅広く薬物療法の知識を身に着けることができおり、充実した日々を過ごしています。



中川 未菜

私は病院薬剤師としてたくさんの経験を積みたいと思い、独立行政法人国立病院機構九州グループに入職しました。

現在、先輩方に教えていただきながら日々勉強し、楽しく仕事をしています。医師や看護師から相談を受けることも多く、チーム医療における薬剤師の存在の大きさを実感しています。また実際の服薬指導の中で、患者さんの症状や思いを聞き取り、処方提案などの薬学的介入を行って、患者さんに「ありがとう」と言っていたいた時はとてもやりがいを感じることができます。

まだまだ未熟者ですが、長崎国際大学の 6 年間で学んだことは日々の業務の中に繋がっていると強く実感しています。皆さんも在学中にたくさんのことにチャレンジして頑張ってください。